

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アンジュ豊橋東		
○保護者評価実施期間	8年 2月 16日		～ 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	8年 2月 16日		～ 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	日々の支援については、その日の様子や内容・子どもたちの変化や気づいたことなどを業務日報などの記録に残しています。内容には、簡潔ではなく子どもたちにどのような声掛けをして今後どのように支援を活かしていくかなども記載をしています。業務日報の内容をもとに、職員間で共有して支援の取り組み方を一緒に考え話し合うこともできています。	今後さらに日報等の記録に残していることを日々の参考にしていきたいように、職員間での共有を大事にしていきたいと思っています。日報には、児童の様子や課題等を振り返り、職員全員で支援の取り組み方を見直し改善につなげていけるようにしていきたいと思っています。保護者との情報共有も大事にし、日々の振り返りを支援の改善につなげていけるようにしていきます。
2	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宣組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	放課後等デイサービス計画を職員間で共有を行い、日々職員で話し合い、個別活動では作業や学習を主に行い、前日に取り組んだ学習や作業を職員で話し合い、一人一人に沿った学習や作業はどのような事がいいかを意見を出し合いながら考えています。集団活動では、他児との関わりやルール理解、社会性を促す機会などを取り入れ、無理のない範囲で児童が参加できるようにしています。	児童の状況に応じた個別活動と集団活動の組み合わせについて、今の活動にプラスしてより計画的に様々な取り組みをしていけるようにし、日々の職員での振り返りを通して活動内容が児童に合っているか、どんな活動を継続していくのがいいかを考えて、児童が無理なく成長していけるように支援をしていきます。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	日頃から保護者との情報共有を大切に、児童の様子や変化について伝え合うことを意識しています。送迎時の保護者の方との直接のやり取りやサービス提供記録・公式LINEを活用して、日々の活動内容や様子・できたことや気になる点等を伝えるように心がけています。保護者からも児童の家庭での様子や気になることを聞くことで、児童の放デイと家庭の様子を把握し、共有した情報は職員間でも共有して支援に繋げていけるようにしていきます。	今後も保護者との情報共有の機会を大切にいき、さらにやり取りが深まるように取り組んでいきたいと思っています。日頃からの送迎時やサービス提供記録・公式LINE等での情報を支援計画や日々の関わりに取り入れていくことで、児童により良い支援をしていけると考えています。情報を職員間で共有をしていくことで、統一した対応を心がけることで、より良い信頼関係を保護者・児童・事業所ともに今後やっていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間では、こどもに分かりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮がなされているか。	活動場所は2階にあり、入り口から階段で上がる為、手すりはありますが車いすでの利用を検討している方は建物の構造上移動が難しい作りになっており完全なバリアフリーとは言えません。階段以外の活動場所等はバリアフリーとなっており、十分な活動のスペースは確保することができています。	車いすでの利用を検討されている方は建物の構造上移動が難しい作りになっていますが、階段の昇降・活動場所での杖や手すりを使用した自立歩行の移動が可能の際は、職員で見守り出来る限りのサポートを行っています。今後も、活動場所や階段での日頃からの事故・ケガ等に十分な注意を払っていき、安心・安全に過ごしていけるように支援を行っていきます。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	保護者同士の交流の機会等の開催を時期を検討しながら考えてきましたが、インフルエンザ・コロナによる感染症の影響により、集まってしまうのが難しい状況にあり十分な開催機会を設けることができていないのと、感染症への不安や各家庭の都合もあるので、なるべく皆さんが参加できるように開催方法等についても改めて考えていくことが必要となっています。	状況に応じて様々な方法を考え、短時間で気軽に参加できるような内容での開催や、外での季節イベントを踏まえた児童と保護者も楽しみながら行えるような交流等も検討していけたらと思います。感染症の状況も踏まえていけるように、様々な方法で保護者同士が安心して交流をしていけるようにします。
3	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	公式LINEを使って日頃から保護者の方とは連絡などを取れる体制にはなっているので、行事予定などの情報提供をすることは出来ていますが、ホームページに関してはあまり周知されていない事があります。	ホームページに日頃の活動の様子などを載せることにより、見学を考えている方なども活動の雰囲気や内容が少しでも伝わっていくので、投稿頻度を増やしていけるようにしていきます。利用している保護者の方にも普段どんなことをしているのかなど知ることできるツールの一部でもあるので、今以上に周知をしていけるようにしていきます。